

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

2013年9月12日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

生活保護不服審査請求 1200件超過！

全道各地で、学習会、訪問などで審査請求広がる さらにひろげましょう

十勝勤医協でも学習会 当事者も参加し申請決意者も

9月6日、十勝勤医協は、住民生活に多大な影響を及ぼす生活保護基準引き下げはとんでないと「生活保護基準引き下げ学習集会」を開催し、生活保護利用者8名など約40人が参加しました。

杉野帯広市議が「市の生活保護の現状」を報告(写真)、道生連の佐藤事務局長が、生活保護基準引き下げとその影響、不服審査請求などのとりくみについて講演しました。参加した生活保護利用者も審査請求を決意しました。12日の幕別町での書き込み会には5名が参加。帯広市でも予定しています。



通所介護の回数減など 介護制度にも被害 介護事業所でも利用者に働きかけ



自宅を訪問。審査請求書に記載している様子(小樽)

札幌市内のケアマネジャーは、「生活保護利用者にも被害が生じている」と話します。生保利用者は、基本は無料で利用できますが、通所介護などの食事代やレクレーションは有料のため生活扶助費の中から払います。その扶助費が減ったため、食費代が負担できず、通所介護の回数減の相談もあるそうです。また、低額の食事付き高齢者用住宅に入居している方から、自由に使えるお金(月1万円程度)がさらに少なくなるので困っているなどの相談もあるそうです。

食事付き高齢者用住宅の入居者(札幌)の手記から

「10万円で暮らしてみてください。高齢者低額施設はない。2500円下がり、消費税も上がったら死ぬよりしかたないと悲観しています」

生活保護基準の引き下げをやめよ！全道1千件 審査請求提出集会

9月17日(火) 13時30分から 札幌エルプラザ・3階ホール / 9月20日は自治労会館

社会保障マスター養成講座はじまる

第1講座「すぐに使える、暮らしに役立つ社会保障制度」

9月5日、2013年度の社会保障マスター養成講座が始まりました。第1講座は、「すぐに使える、暮らしに役立つ社会保障制度」をテーマに道生連の佐藤宏和事務局長が講演し、



16人が参加しました。佐藤氏は、出来たての『道民の暮らしに役立つハンドブック』を使い、社会保障制度には「減免」と「給付」があること、住民税が非課税になると利用できる制度が増えることから障害者控除や医療費控除など使って必ず確定申告すること、生活保護の具体的な制度や申請の仕方などを解説し、制度を利用し制度を改善させる運動をすることを強調しました。参加者から「わかりやすかった」「第2講座も是非参加したい」などの感想が寄せられました。

第2講座は、10月10日(木) 18:30～ 札幌エルプラザです。

「社会保障・税一体改革」VS「真の社会保障」 講師は 山口一秀・中央社保協事務局長です

9月24日(火) 10時～

チカホ北3条交差点広場

雇用・暮らし・SOS 街頭相談会
& 雇用と暮らしを守るミニ学習会